

着床と妊娠継続に関わる検査・治療について

希望する項目がありましたら医師にお申し出ください。◆は体外受精治療の方が対象となります。

□ 着床不全検査 *検査により別途再診料とエコー代¥3,000-がかかります。 (税抜)

子宮鏡検査 子宮内に内視鏡(カメラ)を挿入し、ポリープ、筋腫、子宮奇形など着床の妨げになる原因がないかどうかをみる検査です。検査後当日に結果をご説明します。		保険 自費	¥2,600~ ¥22,000
子宮内膜生検(免疫染色 CD138 検査) 子宮内膜に炎症所見があるか病理学的に診断する検査です。着床不全の原因の一つに慢性子宮内膜炎が考えられています。	子宮内膜 を採取	*結果まで 約 2 週間	自費 ¥15,000
子宮内フローラ検査 子宮内の菌の割合を調べる検査です。妊娠にはラクトバチルス属優位が良いとされ、菌のバランスの崩れが着床不全や流産・早産の原因の一つと考えられています。		自費 ¥38,000	
EMMA/ALICE 検査 *JISART 多施設共同研究へ参加する方 子宮内の菌の割合を調べる EMMA 検査と、慢性子宮内膜炎に関連する病原菌がいるかどうかを調べる ALICE 検査をあわせて行います。		約 4 週間	自費 ¥41,000
◆ERA(子宮内膜着床能)検査 子宮内膜が着床可能な状態にあるかどうかを調べる検査です。理想的なタイミングで胚移植を行うことで、着床および妊娠の成功率を上げることが期待されます。この検体採取で EMMA/ALICE をあわせて検査することも可能です。		自費 ¥130,000	
ビタミン D 活性 ビタミン D の不足が不妊の原因の一つと考えられています。	血液検査		自費 ¥5,000
Th1/Th2 免疫のバランスを調べる検査です。正常な妊娠は Th2 優位とされ、Th1 寄りだと着床あるいは妊娠継続ににくい可能性が指摘されています。		約 1 週間	自費 ¥20,000
銅			自費 ¥2,000
亜鉛			自費 ¥3,500

□ 不育検査

東京都では不育症検査に係る費用の一部を助成しています。検査項目・費用・助成対象については初診時にお渡しのパンフレット[不育症検査について]をご参照ください。

□ PRP 療法(多血小板血漿)

患者様自身の血液から抽出した高濃度の血小板を子宮内に注入します。血小板には細胞の成長を促す物質や免疫にかかわる物質を含むため、子宮内膜が厚くなることが期待できます。それにより着床しやすくなる可能性が高くなると考えられています。詳細は医師にご相談ください。

◆ PGT-A(着床前胚染色体異数性検査)

日本産婦人科学会では移植 2 回不成功または 2 回以上流産の方を対象に臨床研究をしており、当院も認定施設となっています。詳細は医師にご相談ください。

動画[PGT-A 臨床研究検査前説明(前・後編)]に詳しい説明がございます。

*祝日や検査会社の夏季休業日、年末年始がある場合は検査結果が出るまでに日数がかかることがあります。

